参考資料２

貧困のプロセスと子どもの貧困対策の考え方

貧困連鎖のプロセス

「経済的貧困」※の表出

「見える貧困（表出された経済的貧困）」
例：生活保護給付，就園奨励費等

「原因」の表出

不登校
非行
ニート・引きこもり
など

「見える貧困（表出された原因）」
例：要支援健全育成事業（月の家），適応支援教室（まちかどの学校），就労支援

貧困の連鎖

「予兆」の表出

乳児期～学童期における
『獲得すべき力』の基礎と
基本的生活・学習習慣の欠落

「見えない貧困（関係性の貧困）」

「予兆」を察知し「原因」を表出させないための「予防策」が必要

【親から子へ】防ぐべき連鎖
物や教育，経験，人とのつながりなどの剥奪

経済的貧困状態（保護者）
・経済的・精神的な不安定
・規則正しい生活からの脱落
・教育・文化への無関心

子どもの成長

子どもの貧困対策の考え方

専門的支援

困難な状況への支援

日常生活支援（貧困連鎖の早期予防）

支援の対象となる子どもの数

「対応」・「予防」に要するエネルギー（人的・財政的投資または投入）

対応
【症状】
他害・自傷

【症状】
・非行（重度）
・長期引きこもり

（困難性）
【支援の専門性高】
【支援の頻度多】

＜取組＞
【対応】
・児童相談所
・児童養護施設
・ひきこもり支援センター　など

対応
【症状】
・不登校
・非行
・引きこもり

（困難性）
【支援の専門性中】
【支援の頻度中】
＜取組＞
【対応】
・スクールソーシャルワーカー活用事業
・スクールカウンセラー
・生活困窮者に対する学習支援
・適応支援教室　など

＜取組＞
【予防】（再掲）
・学校生活
・家庭生活
・地域への参加
・宮っ子ステーション事業
・地域未来塾
・子ども食堂　など

対応
【予兆】
・家庭での学習習慣の欠如
・不規則な生活習慣
・社会性の欠如

【支援の専門性低】
【支援の頻度少】
＜取組＞
【対応】
・民生委員・児童委員
など

＜取組＞
【予防】
・学校生活
・家庭生活
・地域への参加
・宮っ子ステーション事業
・地域未来塾
・子ども食堂　など

望ましい子どもの状態

**早めに「予兆」を察知・支援することにより，
最小の人的・財政投資で
望ましい子どもの状態とすることが可能**